

# 2023年12月期第2四半期 決算説明会資料

2023/8/9



**東海カーボン株式会社**

## 目次

I	2023年12月期第2四半期決算概要	P 3-13
II	T-2025進捗ご報告	P 14-18
	参考資料	P 19-22

# I

2023年12月期第2四半期

## 決算概要

- 国際通貨基金（IMF）は、2023年の世界経済成長率見通しを4月に下方修正、先進国中心にインフレ抑制の対処が重しとなり深刻な景気後退には至らずも減速傾向。7月25日に3.0%へ0.2ポイント上方修正するも、地政学リスクや主要国の金融・財政政策の動向をはじめ、不確実性の高い事業環境が継続
- こうした中、当2023年1－6月期連結業績は、事業セグメントや地域による差異はあったものの、カーボンブラックやスメルティング&ライニング等が堅調に推移。前年同期比2桁の増収・増益、ROSも上昇。営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも期初予想を上回った。通期業績予想に対する進捗も順調
- キャッシュベースの稼ぐ力を示すものとして重視するEBITDAも2桁増益を達成。EBITDAマージンも20%をクリア
- 下期も見通し難しい事業環境が続くと想定されるものの、通期業績見通し、配当予想（1株当たり36円）に変更なし
- 財務健全性や流動性は資本効率とのバランスをとりつつ良好な水準を維持。5月の信用格付のAフラットへの向上による投資余力を活かし、T-2025において推進している事業ポートフォリオ強化及び成長に向けた投資を、規律をもって継続

- カーボンブラックを中心に主要事業が堅調に推移し、前年同期比で増収増益
- 売上高 1,784億円 (前年同期比+13.6%) 営業利益217億円 (同+30.0%) ROS 12.2% (同+1.6%)

(百万円)

	2022年1-6月	2023年1-6月	増減額	増減率
売上高	157,070	178,428	+21,357	+13.6%
営業利益	16,717	21,738	+5,020	+30.0%
経常利益	19,448	24,109	+4,660	+24.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,253	15,904	+6,650	+71.9%

連結対象会社 (2023年6月末現在)

- 連結子会社 31社
- 持分法適用会社 1社

1-6月平均為替レート

- 2022年 USD1= ¥122.89  
EUR1= ¥134.25
- 2023年 USD1= ¥134.85  
EUR1= ¥145.79

# セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

6

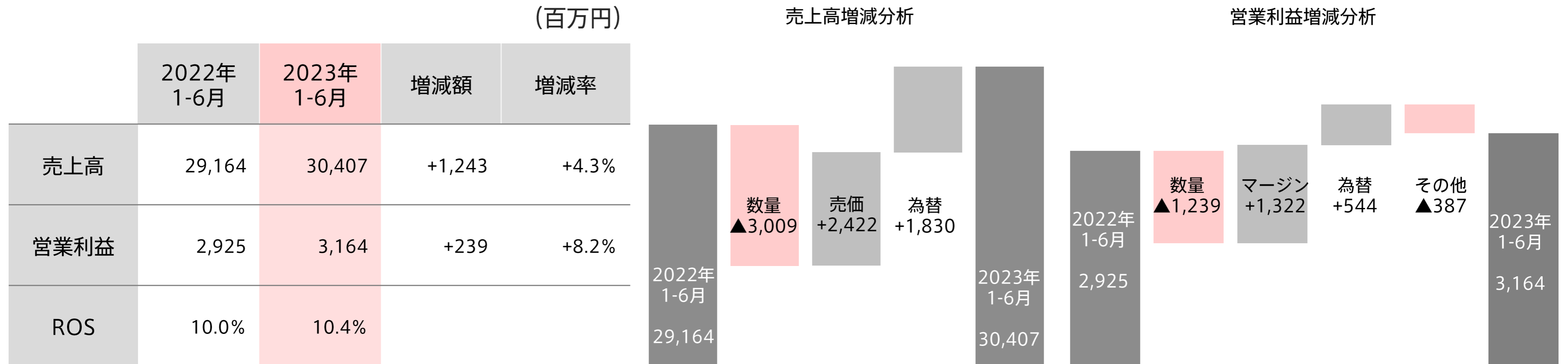
## ■ 主要4セグメントのうち3セグメントで増収増益、EBITDAも増加

(百万円)

	売上高			営業利益			EBITDA		
	2022年1-6月	2023年1-6月	増減額	2022年1-6月	2023年1-6月	増減額	2022年1-6月	2023年1-6月	増減額
黒鉛電極	29,164	30,407	+1,243	2,925	3,164	+239	5,547	5,897	+350
カーボンブラック	63,729	73,831	+10,102	4,785	10,773	+5,987	8,214	14,499	+6,285
ファインカーボン	23,695	21,373	▲2,322	6,787	5,041	▲1,745	9,887	8,406	▲1,481
スメルティング & ライニング(SL)	26,606	41,473	+14,866	▲3	1,392	+1,396	6,472	8,530	+2,058
工業炉関連	8,904	5,707	▲3,197	2,518	1,263	▲1,254	2,683	1,431	▲1,252
その他	摩擦材	4,493	4,859	+366	—	—	—	—	—
	負極材	409	709	+299	—	—	—	—	—
	その他	68	66	▲1	—	—	—	—	—
計	4,970	5,635	+664	387	635	+248	607	865	+258
調整	—	—	—	▲681	▲533	+148	▲424	▲292	+132
合計	157,070	178,428	+21,357	16,717	21,738	+5,020	32,987	39,338	+6,351
売上高比率	—	—	—	10.6%	12.2%	+1.6%	21.0%	22.0%	+1.0%

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

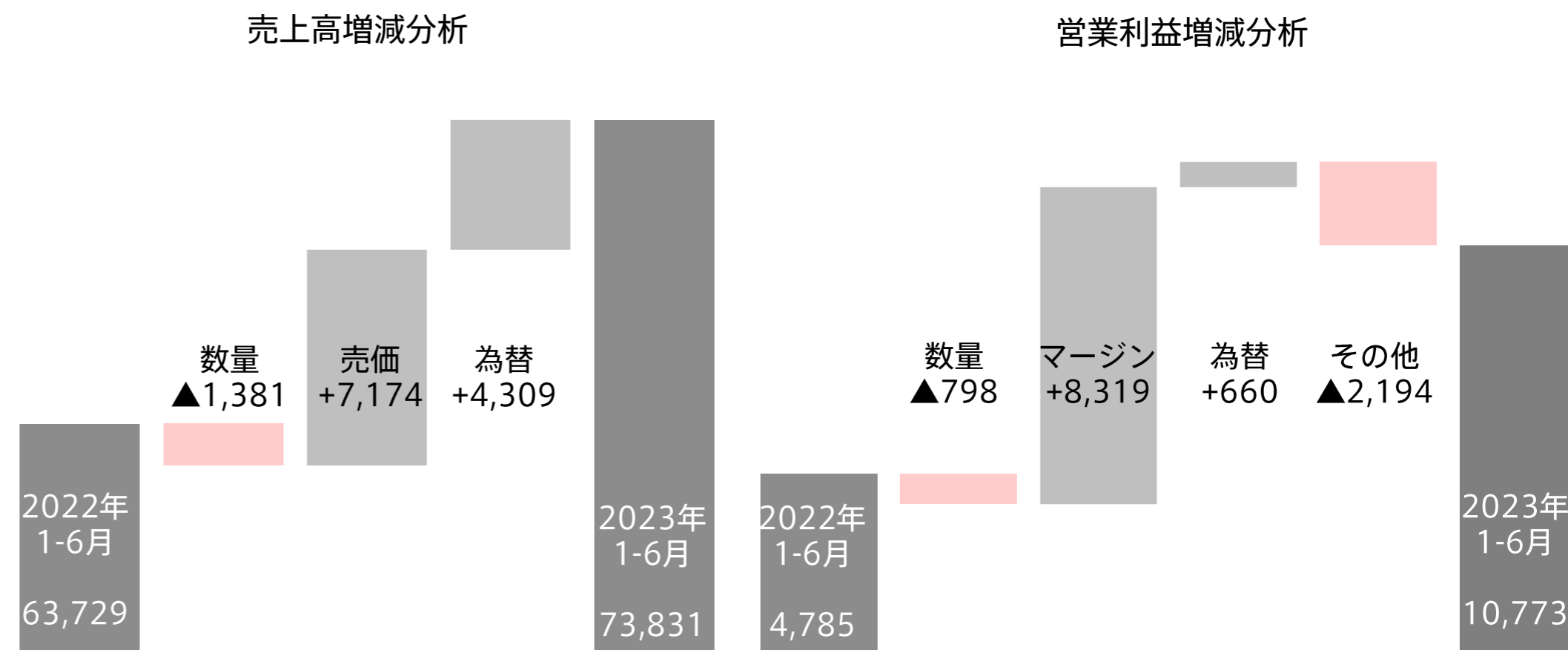
- 各地域での電炉の稼働率低下により販売量は下振れも、北米を中心とした大口径品の販売増加により売価は上昇し、為替要因もあり、増収増益
- 欧州市場では大手メーカー、アジア市場では中国、インドメーカーの積極的な価格攻勢継続により市況弱含み



- 一部顧客の生産調整の影響を受けるも、新車関連の需要回復により、タイヤ向けを中心に販売数量は前年同期並みに推移
- 米国を中心とした環境設備投資コスト等の売価への反映と生産性改善を主因に増収増益

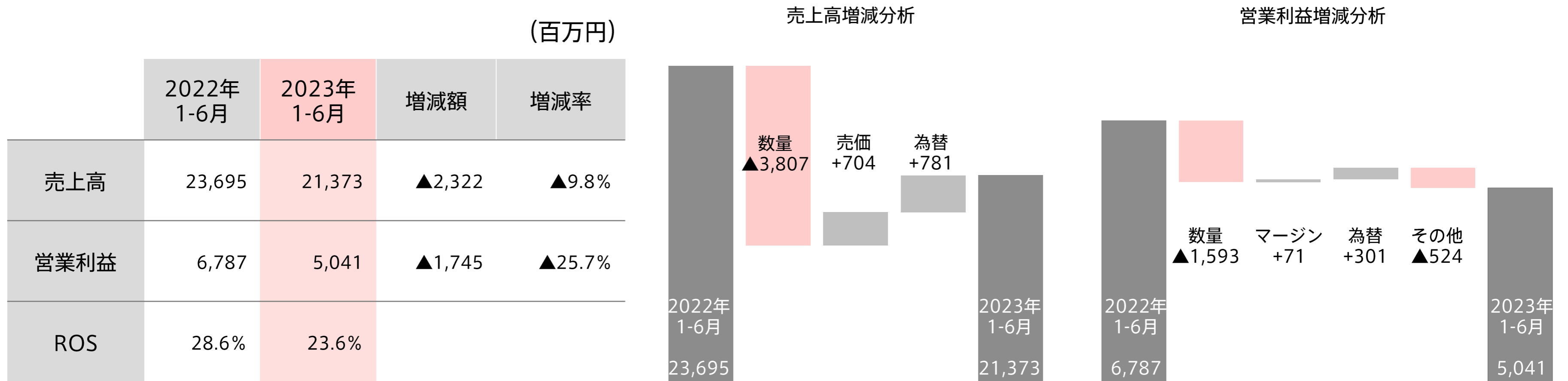
(百万円)

	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減額	増減率
売上高	63,729	73,831	+10,102	+15.9%
営業利益	4,785	10,773	+5,987	+125.1%
ROS	7.5%	14.6%		





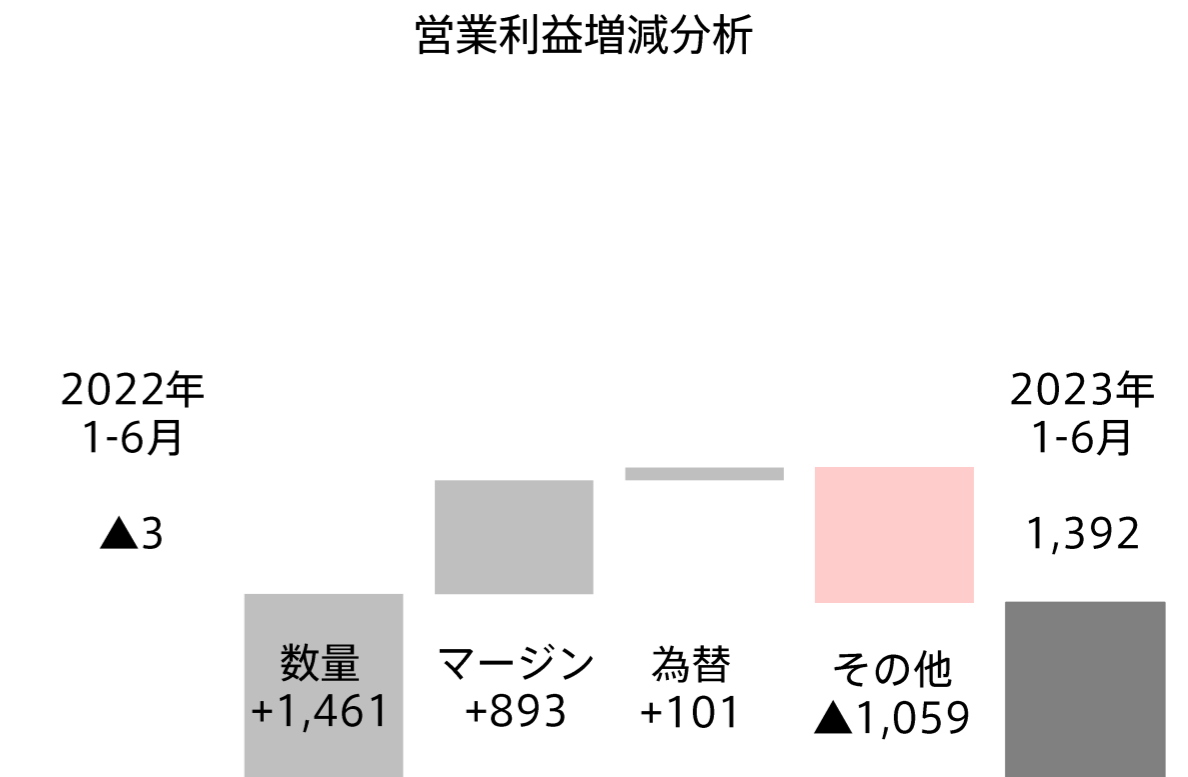
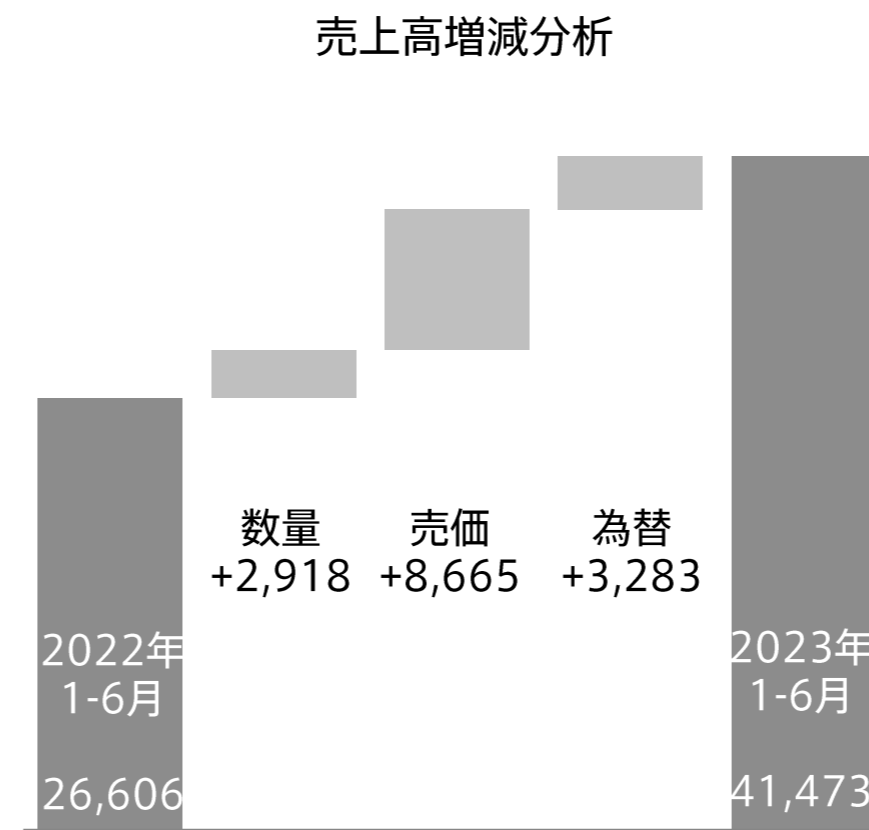
- パワー半導体向け製品及び一般産業向けの販売は堅調に推移したものの、半導体製造装置用製品は、スマートフォンやパソコン等の需要低下による顧客での在庫調整及び米国の対中政策の長期化により販売が落ち込み、減収減益
- メモリをはじめとする半導体市場の回復時期は後ろ倒しの懸念あるが、中長期的な市場の拡大に向け成長投資は継続



- エネルギー価格と一次アルミ地金価格が共に下落基調にあるなか、新興国向けの需要に支えられ、アルミ電解用カソードの販売は、堅調に推移
- 原料価格や労務費等の生産コスト上昇は、製品価格への転嫁と生産効率改善で吸収し増収増益
- のれん等償却費を除いた営業利益は69.4億円 (ROS16.7%) と前年同期比で33.9%増益

(百万円)

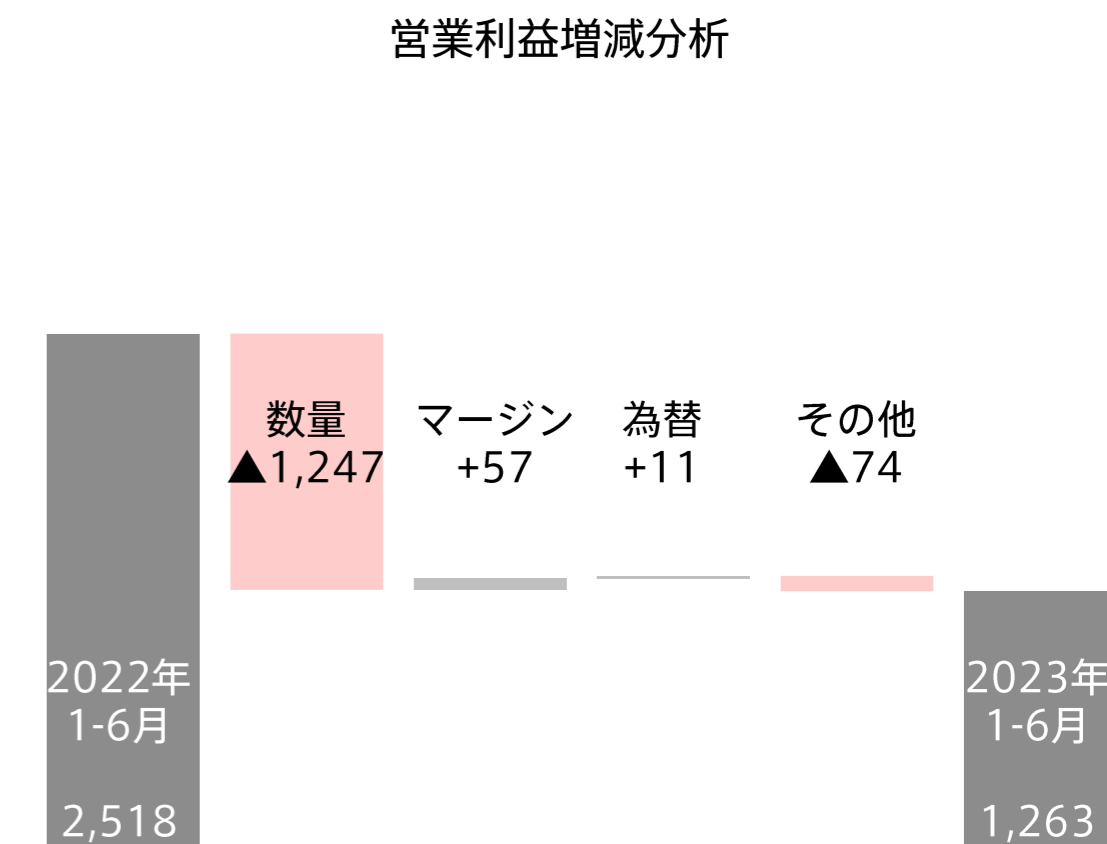
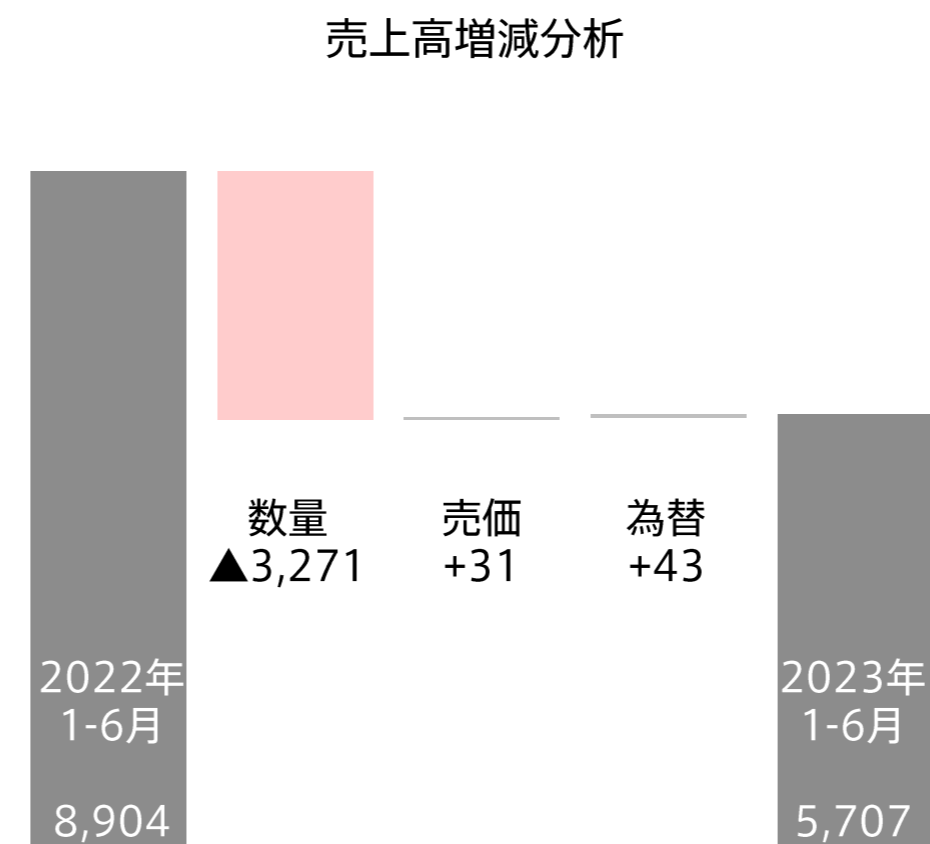
	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減額	増減率
売上高	26,606	41,473	+14,866	+55.9%
営業利益	▲3	1,392	+1,396	-%
ROS	▲0.0%	3.4%		



- 主要需要先であるエネルギー関連業界向けの売上が下期に集中することに加え、電子部品関連業界の需要の回復の遅れにより、減収減益
- 積層セラミックコンデンサ（MLCC）、リチウムイオン電池（LiB）電極材の中長期的な市場の拡大を睨み工業炉と発熱体共に成長投資を継続

(百万円)

	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減額	増減率
売上高	8,904	5,707	▲3,197	▲35.9%
営業利益	2,518	1,263	▲1,254	▲49.8%
ROS	28.3%	22.1%		



## 主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2022年1-6月	2023年1-6月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	9,888	17,383	
税金等調整前当期純利益	19,181	24,287	
減価償却費	12,623	13,680	
のれん償却額	3,646	3,919	
売上債権増減	▲5,119	3,142	} 運転資本 ▲141億円 (前期▲184億円)
棚卸資産増減	▲14,313	▲7,904	
仕入債務増減	971	▲9,437	
法人税等の支払額その他	▲7,101	▲10,304	
投資活動によるキャッシュフロー	▲17,661	▲20,861	・フリーキャッシュフロー▲34億円 (前期 ▲77億円)
有形固定資産取得	▲16,902	▲23,459	
財務活動によるキャッシュフロー	▲7,577	▲287	
借入金増減(CP含む)	2,209	4,696	
子会社株式取得	▲5,024	-	
配当金の支払	▲3,197	▲3,197	
現金及び現金同等物期末残高	53,831	51,251	

※運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

## 主な貸借対照表項目

(百万円)

	2022年12月末	2023年6月末	概要
資産合計	576,465	630,385	
流動資産	246,691	262,102	
現預金	70,909	70,072	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金月商比率 2.4倍 (前期末2.5倍)</li> <li>・棚卸資産 前期末比+157億円</li> <li>・有形固定資産 前期末比+274億円</li> <li>・無形固定資産 前期末比+44億円</li> </ul>
受取手形・売掛金	65,197	65,707	
棚卸資産	101,330	117,109	
固定資産	329,773	368,282	
有形固定資産	181,948	209,442	
無形固定資産	118,839	123,313	
投資その他の資産	28,986	35,525	
負債合計	275,596	276,853	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット有利子負債 1,064億円 (前期末比+59億円)</li> <li>・有利子負債 1,765億円 (前期末比+50億円)</li> <li>・直接調達比率 65.1%(前期末67.1%)、長期比率 55.5%(前期末52.9%)</li> <li>・短期融資枠660億円 (前期末比+0億円) : 借入実行額100億円 (前期末比+40億円)</li> <li>・債権流動化・CP発行限度枠780億円 (前期末比+0億円) : 借入実行600億円 (前期末比+0億円)</li> </ul>
流動負債	146,696	132,109	
固定負債	128,900	144,743	
純資産合計	300,868	353,531	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本比率50.7%(前期末46.6%)</li> <li>・調整後自己資本比率※ 56.3%(前期末52.7%)</li> <li>・ネットD/Eレシオ 0.3倍 (前期末0.4倍)</li> <li>・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.2倍)</li> </ul>
株主資本	218,761	231,494	
その他包括利益累計額	50,065	88,153	
非支配株主持分	32,041	33,882	
負債純資産合計	576,465	630,385	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

# II

ローリング中期経営計画(2023-2025)

## **T-2025進捗ご報告**

中計初年度である2023年は、黒鉛電極の回復遅れ、ファインカーボン事業の半導体製造装置向けの需要減速の影響を受ける。一方で中期的目線は変わらず、T-2025ターゲット達成に向けた設備投資や開発は継続

## T-2025 基本方針

### ① 主力事業の成長軌道回帰

- ✓ カーボンブラックは、環境投資、原料油コストの売価への転嫁が実現し、マージン改善。米国拠点も安定稼働体制へ
- ✓ 黒鉛電極の市況弱く、採算改善に遅れ



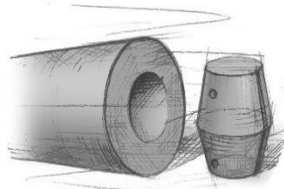
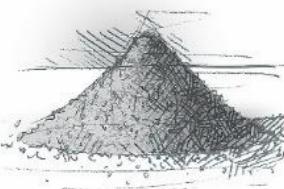
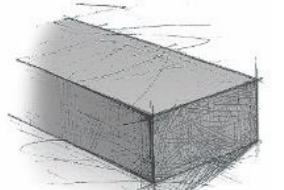

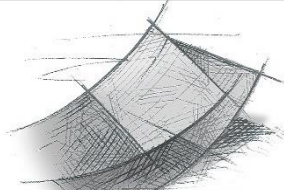
### ② 事業ポートフォリオの最適化（選択と集中）

- ✓ 急成長するSiC半導体市場に沿った生産能力の増強投資により、ファインカーボン事業の成長見込む
- ✓ 新規事業立ち上げに向け、外部パートナーとの連携・共創強化

### ③ サステナビリティ経営基盤構築

- ✓ カーボンニュートラル推進
  - CO2フリー電力への切替、製品リサイクルに向けた研究
  - Scope 3連結データ収集体制構築
- ✓ 従業員エンゲージメント向上に向けた取り組み
- ✓ 内外子会社のガバナンス体制強化
  - 環境・安全・コンプライアンス管理体制のグローバル展開
  - 新行動指針・グローバル行動規範の周知

## 各セグメントの中期的成長見通しは変わらず

事業	足元の状況	今後の見通し
 <p>黒鉛電極</p>	<p>世界的な鉄鋼生産減速により電炉稼働率低下 特に欧州にて電極市況軟化</p>	<p>鉄鋼景気の短期的見通しに不透明感増す。一方で、米国を中心に電炉新設プロジェクトは着実に進められており、中期的な高品質市場の拡大見通しは変わらず</p>
 <p>カーボンブラック</p>	<p>環境投資、原料コストアップなどを反映した適正売価設定によるマージン改善 新車用需要は回復しているものの トラック、バスの補修用タイヤ需要は停滞している状況</p>	<p>補修用タイヤ需要の回復のタイミングは不透明であるも、中期的な成長見通しは変わらず 米国を中心にCB需給バランスはタイト化する見通し</p>
 <p>ファインカーボン</p>	<p>スマホ、パソコン向けの半導体需要減速 米国対中規制の影響もあり、当社主要製品フォーカスリング販売も大幅減</p>	<p>半導体市場は2024年に成長軌道へ回帰 EV用パワー半導体向けの製品需要は想定以上に強く、引き続き生産能力増強に取り組む</p>
 <p>スメルティング＆ライニング</p>	<p>欧州顧客減産、中東他は投資旺盛で需要堅調 高炉用ブロック受注は堅調 炭素電極は減速（半導体不振による金属シリコン需要減少）</p>	<p>製品毎の最適地生産追求によりコスト競争力強化 カソード、高炉用ブロック需要は堅調の見通し</p>
 <p>負極材</p>	<p>グローバル展開を視野に、人造系負極材の開発を推進 (経産省助成金認定)</p>	<p>フランス拠点との連携強化 米国へのグリーンフィールド投資視野</p>



中計初年度である2023年は、黒鉛電極の回復遅れ、ファインカーボン事業のメモリ半導体製造装置向けの減速の影響を受ける。一方で中期的目線は変わらず、T-2025ターゲット達成に向けた設備投資や開発は継続



高成長・高ROIC 事業への成長投資

事業部名	ROIC (2022年度)	貢献市場	貢献市場成長率	成長投資 (能力増強)
ファインカーボン	16 % ※SiC関連製品の品質、量産化技術における優位性による高い収益率	パワー半導体 ※EV向け需要増	年率 21% SiC半導体市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループSiC生産能力 5割増 (2022→2025年)</li> <li>等方性黒鉛材の生産能力を 3割増 (2022→2025年)</li> </ul>
工業炉及び関連製品	30 % ※設計、アセンブリ技術の蓄積が模倣困難な競争優位を生む。最小限の設備投資コストで高いROICを創出	積層セラミックコンデンサ リチウムイオン電池 ※EV需要増 ※自動車の電装化に伴う一台当たりのMLCC搭載数激増	年率 10-20% 工業炉 エレマ発熱体	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場成長に合わせ工業炉とエレマ発熱体の生産能力増強</li> <li>工業炉新設工場 (2023年より稼働開始)</li> <li>エレマ発熱体生産能力は、2025年には現行の4割増へ</li> </ul>

FC事業の中期経営計画における3年間の累計設備投資額は約220億円の計画。半導体産業の市場拡大に合わせて生産能力を増強。今後発展が見込まれる高純度製品、SiC製品のグローバル供給体制の整備を進める

## 成長投資プラン

国	投資概要	関連製品	2022	2023	2024	2025	2026
日本	等方性黒鉛 能力増強	ISO	年産8,000トン→9,400トン → 11,000トン			業績寄与(順次)	
日本	CVD 炉増強	Solid SiC / SiC coat	生産能力 3割増			業績寄与	
韓国	CVD 炉増強 [既存工場]	Solid SiC / TaC coat	生産能力 4割増			業績寄与	
韓国	新工場建設	SiC 関連	土地取得	工場建設・CVD 炉投資			業績寄与(順次)
中国	新工場建設 [拡張移転]	高純度品 / SiC coat	生産能力 4割増			業績寄与(順次)	

## ON TRACK

- ✓ 2025年にはグループEBITDAの24%を創出する事業へ成長
- ✓ 2025年計画のROS 29% ROIC 18% EBITDAマージン 42%目標

## 參考資料

# 主要子会社売上高

20

(百万円)

子会社	2022年 1-6月	2023年 1-6月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	9,981	7,893	▲2,088	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	13,674	17,979	+4,304	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	13,413	14,203	+790	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	29,895	34,497	+4,602	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	4,734	4,882	+147	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	16,217	11,583	▲4,633	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	26,771	41,674	+14,903	ドイツ SL	・2019年8月より連結寄与

(百万円)	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
売上高	262,028	201,542	258,874	340,371	410,000
営業利益	54,344	7,858	24,647	40,588	45,000
ROS (%)	20.7%	3.9%	9.5%	11.9%	11.0%
EBITDA	77,053	35,262	54,518	75,572	81,000
EBITDA マージン (%)	29.4%	17.5%	21.1%	22.2%	19.8%
親会社株主に帰属する純利益	31,994	1,019	16,105	22,418	26,000
ROE (%)	16.0%	0.5%	7.5%	9.0%	9.5%
ROIC (%)	13.1%	1.6%	4.8%	7.1%	7.0%
設備投資額	24,341	28,873	30,347	48,150	63,000
減価償却費	18,503	20,890	22,900	27,460	28,000
研究開発費	2,460	2,682	2,823	3,171	4,000
有利子負債	148,030	158,643	168,249	171,452	—
ネットD/Eレシオ	0.5	0.5	0.4	0.4	—
調整後ネットD/Eレシオ	0.3	0.2	0.2	0.2	—
従業員数 (人)	3,714	4,178	4,289	4,378	—
為替レート (JPY/USD)	109.05	106.82	109.80	131.43	130

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費,

※ ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 (運転資本+固定資産)

# セグメント別業績推移 (四半期ベース)

22

(百万円)

	2022					2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	下期f (*)	通期
売上高	69,512	87,558	89,261	94,038	340,371	86,530	91,897	231,573	410,000
黒鉛電極	12,362	16,802	14,502	15,963	59,630	13,486	16,920	40,594	71,000
カーボンブラック	29,430	34,298	39,621	35,134	138,484	37,406	36,424	92,170	166,000
ファインカーボン	10,935	12,760	13,127	12,569	49,393	11,444	9,928	30,628	52,000
スメルティング& ライニング (SL)	11,605	15,001	16,148	22,448	65,203	19,218	22,254	47,528	89,000
工業炉関連	2,523	6,381	3,018	4,348	16,272	2,449	3,258	14,293	20,000
その他									
摩擦材	2,290	2,202	2,341	2,528	9,362	2,460	2,398	6,142	11,000
負極材	330	78	465	1,012	1,888	29	679	292	1,000
その他	34	33	34	33	136	33	33	▲66	0
その他計	2,655	2,315	2,842	3,575	11,387	2,523	3,112	6,365	12,000
営業利益	7,938	8,778	11,297	12,573	40,588	11,493	10,244	23,263	45,000
黒鉛電極	1,258	1,666	2,378	2,728	8,032	1,637	1,526	2,837	6,000
カーボンブラック	3,049	1,735	4,201	3,295	12,282	5,757	5,015	5,228	16,000
ファインカーボン	2,912	3,874	4,312	3,726	14,825	3,103	1,938	10,959	16,000
スメルティング& ライニング (SL)	67	▲71	▲301	1,650	1,345	408	984	608	2,000
工業炉関連	763	1,754	790	1,166	4,475	534	728	4,738	6,000
その他	201	186	312	409	1,108	301	334	365	1,000
調整	▲314	▲367	▲395	▲402	▲1,480	▲249	▲283	▲1,468	▲2,000

(\*) 2023下期f: 2023年下期数値 は2023年12月期の通期予想から上期実績を控除して表示しております

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先  
総務部 TC-IR.new@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust  
**TOKAI CARBON CO., LTD.**